

TSUNAGU

～学びの先の夢に向かって～

東大阪市教育委員会 小中一貫教育推進室



トピックス

小中一貫教育推進室日より「TSUNAGU」では、子どもたちの様子や学校園の取組みなど、市内における小中一貫教育をはじめとした連続・一貫した教育活動の状況を発信していきます。

探究する子どもの姿の共有 縄手北中学校区

縄手北中学校区では、小中一貫教育コーディネーターが中心となり、両小学校の一貫教育担当者として協働して、「どうすれば学習過程を探究的にすることができるか」という課題を追求した夢TRY科の研究授業を実施しました。

縄手東小 5年 『健康と睡眠の質』

課題の設定

睡眠は十分にとれているかな。

当たり前をうたがうことで、疑問が生まれる。

質問です！

すいみんは十分にとれていますか？



情報の収集1

どのような睡眠が必要なのかな。

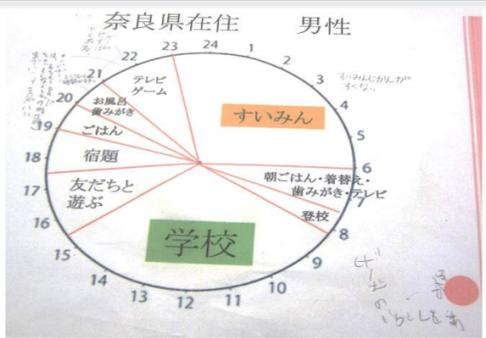
友だちの意見や、テキストから情報がたくさん見つかる。



情報の収集2

モデルケース「1日の行動の円グラフ」を見て、改善できる点は何かな。

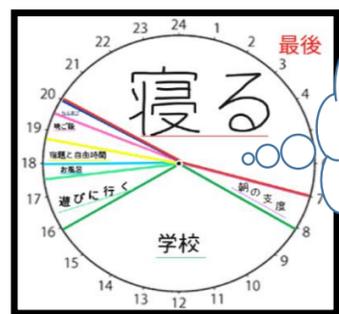
課題を焦点化することで、グループ活動が活発になる。



整理・分析

自分の「1日の行動の円グラフ」の改善点は何かな。

「最後は自分」につなげることで、課題がより自分事になる。



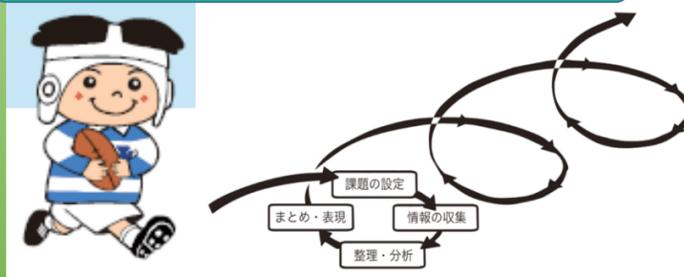
夜ごはんの時間を長くしてみよう。

まとめ・表現

自分の考えを、友だちや先生に伝えたいな。

どうすれば質の良い睡眠をとれるかについて考えました。夜ごはんを食べる時間を長くして、ゆっくり食べるようにすると質の良い睡眠につながると考えました。

探究的な学習における4つのプロセス



探究的な学習とするためには、① 課題の設定

② 情報の収集

③ 整理・分析

④ まとめ・表現

という探究的な学習における4つのプロセスを子どもがイメージすることが大切です。縄手東小5年生の研究授業は、子ども自身の課題意識が高まることで、自分事となり、探究する子どもの姿が実現しました。

【研究授業に参加した先生の感想】

- 非常に楽しそうでした。みんな一生懸命に“さぐる”をした上で、自分事に置き換えて考える時間があったので、夢TRY科だなと思いました。
- 子どもたちが楽しそうに活動していたのが印象的でした。楽しむための授業の仕掛けがたくさんあり、とても勉強になりました。
- グループ交流で子どもらしい発想がたくさん出ていて、とてもいいと思いました。先生が子どもの発言をみんなに返っていて、子どもたちの考えが繋がっていき、それが「めざす子ども像」につながるのだと感じました。



中学校区における探究的な学習の共有が、中学校区のめざす子ども像の実現につながっていきます。